

効舎課と他の行、実の約そと、の果建設について



大城 純孝 議員

公約の一つである雇用対策本部の設置についてどのように対応するのか伺います。

産業課長 設置に当りましては商工会、企業関係者さらには内外の有識者等を含めた組織を設置して本町の雇用対策を検討、情報発信の場を目的として検討していきたく考えていきます。

西原町雇用対策本部の看板を掲げて町民にアピールする必要があると思いますが、どう考えますか。

町長 町民にしっかりと町内にこういう本部があるとアピールする意味では看板の設置と情報の発信ができればいいと思います。

町長の移動手段としてタクシーの利用状況と使用回数、料金について伺います。

総務課長 町長就任から5月未現在まで、使用回数で106回、料金で21万800円となっております。

月割りで2万6350円、8ヶ月で200日と割ると0.53回、1日1回も使っていませんが役場の車で自ら使用した方がいいのではないかと考えています。

庁舎建設について検討委員会は、都市マスタープランの「公共施設ゾーン」へ保健センター、防災センター、町民ホールを併設するプランを発表したがこの検討の実行性はどうか伺います。

企画政策課長 平成22年度分のまちづくり交付金の本要望をする運びとなっております。庁舎はリースバック方式、保健センター等は

法的に作成が義務付けられた公文書、所見欄もあるのに、なぜ活用しないのか。指導支援カルテは個人情報保護の観点からたいへんな問題。指導主事 指導要録は、課題等についてほとんど今は書かれていない状況。

6月1日にカルテ廃止。「自己情報コントロール権」開示、訂正、削除の請求権を保障する町個人情報保護条例に抵触するのでは。

あるべきものについての公開なので、公開はできない。

最多57名の非正規職員を配置する福祉課、非正規職員の配属先と業務内容は。

本町勤務の嘱託3人、臨時3名。出先機関50名。西原保育所16人、坂田保育所24人、西原児童館3人、坂田児童館4人、西原東児童館3人で、調理及び保育業務が主な業務。

保育所は生身の人間の2倍以上非正規職員がいるのははたして「町立」と言えるのか。

非正規職員の増加の主な要因は、国の指導の下、

まづくり交付金の活用し、庁舎と同時に基本設計、実施設計に着手、又、用地交渉も行っていく予定です。庁舎建設において土地収用法も検討していくとのことですが、新聞発表はいかがなものかと思うがどう考えようか。

租税特別措置法の為に議論されたことでその適用の確認があったため必ずしもこじれた場合に強制的に適用していく視点で議論したものではないかと見えます。

兼久マリインタウン線の都市計画決定の日程について伺います。

都市計画課長 平成21年6月2日西原町都市計画審議会の答申を受け6月10日、県知事の同意を受けました。



庁舎公共施設ゾーンのイメージ図

厳しい財政状況の認識は。〔予算を多く取っておいでよ〕が本音？



儀間 信子 議員

3月の定例議会で、他の近隣町村、類似町村の補助金等の実態を述べながら、西原町婦人連合会の大幅な会員数減に対する補助金の額について縮減の提案をした。補助金に対する見解を聞く。

企画政策課長 本年度から補助事業も含めた形で、すべての事務事業を対象に、評価制度を実施したい。必要性、効率性、公平性の観点から検証をしていく。会員数も視点に置きながら、今後の補助金の見直しについて考えていく。

町の厳しい財政状況、経済不況からくる生活困窮者が増える中にある。金はあるよ、がんばれば減ったから切るというの

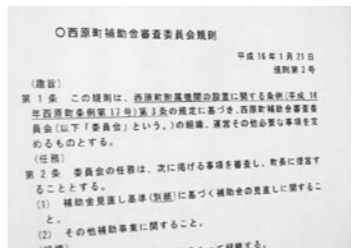
補助金の増減の見直しはあってしかるべき。副町長 会員数、事業内容の補助金の使途等、他市町村の状況等も踏まえて調整をするよう指示を出している。又各課がしっかりと自分たちの抱えている団体等について、内容をつかむ事が大事と思っている。

近隣町村、類似町村との比較検討は大事、比較して高いのか、低いのか、多いのか、少ないのかがわかる。西原町は類似町村の水準を上回っている。主管課がしっかりと審査をされていないのでは。前年度の補助額をポンとおろしているように思う。

全部見てチェックするのは不可能。予算は財政局が問題です、お金を決めるかどうかは。ヒアリングに行く課長たちにたくさん取っておいでよ。これは本音です。

金はあるよ、がんばれば減ったから切るというの

難しい。答えられない。教育長 難しい。答えられない。会員数が400余名に減っている。補助金も私たちみんなが納めた大切な税金、多くの町民が恩恵を受けてこそ有効活用なのでは。数は問題ではないということと自体問題。



西原町補助金審査委員会現則

学校給食の栄養バランスの充足率は。学校給食に「学校給食費は保護者負担」とある。本町会計は公会計だが、私会計が本来のあり方だと考える。



呉屋 悟 議員

学校給食の栄養バランスの充足率は。保健体育課長 4、5月の集計で小学校が94%、中学校が84%。麺、ご飯、ミルクの比重が高まり、副食に回す金額が少ない。牛肉は高いから鶏肉です。デザートも、他の市町村ではミカンなのに、こっちはグレープフルーツの4分の1など。しかし栄養価を落とさない努力をしている。

学校給食に「学校給食費は保護者負担」とある。本町会計は公会計だが、私会計が本来のあり方だと考える。

保健体育課長 会計問題は議員がおっしゃる課題を私も感じている。

内申書、通知表の原簿となる「指導要録」

西原町行財政集中改革プランを策定し、定員適正化計画に基づき、職員定数の管理を行っているため。

国、県からは、金は下り下りしてくる。しかし職員は減らされるこの矛盾。職員の定数削減計画は見直すべきでは。

職員を増やしていく場合、地方交付税のカット、ペナルティが予測され、たいへん苦慮している。

保育士を最後に採用したのは。福祉課長 平成14年4月に1人。

11月3日文化の日に、内閣御殿から百里城へ歴史の道を歩く企画を提案する。

生涯学習課長 尚門王が首里城に上った時に思いを馳せながら歩くという非常にいい提案。

尚門王が首里城に上った時に思いを馳せながら歩くという非常にいい提案。

那城・呉屋の道路整備について



屋宜 宣太郎 議員

最近この議会で町道与那城・呉屋線の町立図書館の先に庁舎建設の予定があると公表されました。しかし庁舎建設することによって、この道路は大変な危険な道路になり現在でも図書館入口から兼久交差点までの間の歩道には18本の電柱があり、歩道幅が最短で58センチ有り、西原小学校へ登校する児童生徒約230名がその間をぬって登校しなければならぬし車道においては、登校時間帯の1時間に724台の車両の通過があります。庁舎建設に伴いこの町道の車道・歩道の整備は必要と思えますが、町当局はどう考え

かお聞きします。土木課長 当該道路は西原小学校への通学路でありながら、歩道が狭く、歩行者が安心して歩けない危険な道路であることから、早急な改善が必要と考えております。本町は町道、与那城・呉屋線図書館付近から西原小学校入り口付近までの歩道上の電柱につきましては、平成19年度に電柱を所有するN.T.Tと調整を行いました。したが移設先の問題や移設した場合の電力と建物との保安、距離の問題、そして移設補償費等の町負担の問題等があり、これまで移設ができない状況にありましたが、また当該道路の歩道拡張の採択、補助事業のメニューがなかったことも改善ができなかった要因であります。そこで現在、マリンタウン地内の人工道路から西原小学校入り口区間については、兼久マリインタウン線の整備計画がありま

す。兼久マリインタウン線の整備によって、危険な歩道部分の一部改善を図ることはできます。今回指摘されている危険な歩道の改善方

は難しいとの事だが、厳しい予算状況を話すのも教育長としてひとつの役目ではないか。教育長は町の三役にいる。厳しい財政状況の中で、予算があるうんぬんというのは、どうかと思う。又「20〜30名の会員数が変わったからと言って減らすことにはならん、極端に数の差があれば別だが」と答えている。極端な数とは何名か。



通学路上の電柱



指導支援カルテの新聞報道